感動いっぱい　夢いっぱい

平成29年9月14日　No. 17

参観授業，懇談会，海・山・修学旅行の事前説明会，そして引渡し訓練へのご参加ありがとうございました。

避難訓練・引渡しは，①地震が起こる・机の下での一次避難　②地震がおさまる・運動場への二次避難　③洪水（津波）が起こる・旧校舎への三次避難　④引渡しという流れです。当日は，運動場の状態がよくなかったので，引渡し訓練だけになりました。

確実に引き渡すために，続柄や氏名を自署していただきました。実際に災害が起こり，引き渡しが必要になった時，緊急連絡カードに記入していただいている方が来られるとは限りません。私達教員も確認が必要な方に引き渡す場合もあるかも知れません。その点で，私達と保護者全員で，お互いを確認し合うということが大切になります。丁寧すぎると感じられた方もいらっしゃると思いますが，ご理解の方よろしくお願いします。

船穂小との交流会（５年生・６年生）　９月８日（金）

５年生は海の学習・６年生は修学旅行の説明会を兼ね，船穂小学校と交流会を行いました。説明を聞いた後，楽しみにしていた交流会です。給食も一緒に食べました。

- 部屋並びやカッター並び・いかだ並びをしました。ぼくたちははじめてだったので，最初は分かりませんでしたが，自分の番号を覚え，船小の人たちの動き方を見ているうちに，わかってきました。「５分前行動」に気をつけたいと思います。（５年　Ａ・S）
- キッズキャンプで仲良くなった人もいます。幼稚園から仲良かった人もいます。さらに，交流会でもたくさんの人と知り合えました。知り合えたいろんな人と海の学習にいくのを楽しみにしています。（５年　結斗）
- いつもはドキドキしないのに，今回はドキドキして初めは話せませんでした。だけど，船穂小学校の人が，「彩葉ちゃん」と話しかけてくれてからは，とても楽しい時間になりました。「修学旅行の準備は自分で」と言われたので，がんばります。（６年　K・I）

- 久しぶりの船小。少しだけ緊張しました。修学旅行のしおり作りをしました。順番に用紙を取って，自分で貼りました。完成。一番にできたと思います。修学旅行の説明のあとは，体育館でドッジボールをしました。たくさんの人数。盛り上がりました。（６年　K・M）
- しおり作りのあとは，部屋や，バスや新幹線の席，係りなどを確認しました。次の交流会では，体育館で実際に動きながらするので，覚えておこうと思います。給食も食べました。柳井原小７人で食べるよりおいしかったです。（６年　流星）
- 船小には，知っている人が多いので，とても楽しくできました。船小の友だちも優しくしてくれたし，説明してくださった先生の修学旅行の話も，分かりやすかったです。役割で，室長や副班長になったので，しっかりとがんばりたいです。（６年　N・S）

（５年生の２人へ）

カッターはオールを持つ３人の息，そして全員の息がそろわないと，全く進みません。最初はまったく進みませんから，覚悟しましょう。隣のオールとコツンコツン。その場でクルクルいつまでも回るという状態になります。

「こつ？」そんなものはありません。技能ではありません。気持ちです。みんなの声がそろうこと，気持ちがそろうこと。１人１人が自分の分担を力いっぱいすること。１時間練習をすると，本当に不思議にそろいカッターがどんどん前に進むのです。その，爽快なこと。瀬戸大橋の近くまでいけるかもしてません。それとも・・・いつまでも岸の近くでクルクルと回転をし続けるかな。

（６年生の４人へ）

小学校生活，最大のイベント。修学旅行。本当に楽しいですよ。そこで，**校長先生から「（いじわる）クイズ」**

「　ある家族が，**奈良の大仏**を見学に行きました。①～④どの見方がよいでしょうか？

①お父さんとお母さんは，ガイドさんの話を聞きながら見学しました。聖武天皇の発願でつくられたこと，大仏が

納められている東大寺は，世界最大の木造見物であること等，建物や作られた時代の様子を知ることができました。
②おじいさんとおばあさんは，大仏さんの顔をじっと見て拝みました。その，柔和な引き込まれそうな表情から，世の中の荒れていた時代，多くの人たちの心のよりどころになったことを感じました。当時の人口の，のべ１/４の人が大仏作りに無償で集まった気持ちも感じ取ることができました。
③大学生のおＨ２９１７兄さんは，近くにあった書物をひたすら読みました。つくられた当初は金ピカの大仏だったこと。金を塗るためには水銀を混ぜること。水銀は塗ったあとは自然と蒸発すること。そのため，大仏作りに参加した多くの人が，原因の不明の病気で，命を落とした悲しい出来事を知ることができました。
④子ども達は，大仏の周りで走ったり遊んだりしました。鼻の穴の大きさをくりぬいた穴にも入りました。『うわっ大きい！』　また，周りを走り回っている途中，台座の部分や本体の部分の色の違いに気づくことができました。『どうして色が違うの？』　　さて，どの人の見方がよいのかな？」

手をうつと　ハトは逃げるし　コイは寄る
茶屋のむすめは　「ハ～イ」とこたえる

金時人参種植え：中学年　９月８日（金）

人じんを２れつにうえるには，うねのはばを広げないといけないことを知りました。理由は，はしっこにうえたら，台風とかがきて，土がくずれちゃって，人じんが見えて虫に食べられちゃうからです。これを一人でするから，原田さんはすごいなあと思います。
たねをうえるきかいがあることも知りました。わたしたちは手でうえました。いっぱいたねをうえた方がいいのか，少ないほうがいいのかわかりませんでした。なので，わたしはいっぱいうえました。来年はわたしたちが教えるほうなのでがんばりたいなと思います。原田さんありがとうございました。
（３年　Ｎ・Ｓ）

広くてがんじょうな「うね」
台風が来ても大丈夫

原田さんは，一つ一つとてもていねいに教えてくださいました。心を込めてお世話をすることが大切なことを学びました。

今日の３・４時間目に人じんの種まきをしました。原田さんが教えに来てくださいました。まず，原田さんと教頭先生がつくってくださった，土のうねを固く整えました。台風が来ても，土がとばされて人じんが出ないように，幅も広くしていきます。
原田さんが，種まき機を使って溝を作りました。そこに，また１ｃｍぐらいのみぞをつくって，１列になるように種をまきました。そして，土が見えなくなるように，上にわらをかけました。わらを加えた理由は，水分が長持ちするからです。水やりは，業かん・昼休み・帰る前です。
大事に育てて，収かくして食べたいです。（４年　Ｈ・Ｙ）

いろんな機械があるのにビックリ！

「おいしいのができますように」
心を込めることが大切。

わらに水がしみこみます。
水分が長持ちします。